

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 8 月 4 日 (2005.8.4)

【公開番号】特開 2003-240142 (P2003-240142A)
 【公開日】平成 15 年 8 月 27 日 (2003.8.27)
 【出願番号】特願 2002-38301 (P2002-38301)
 【国際特許分類第 7 版】

F 1 6 K 15/16

F 0 1 N 3/32

【F I】

F 1 6 K 15/16 C

F 1 6 K 15/16 D

F 0 1 N 3/32 E

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 1 月 6 日 (2005.1.6)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 3 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 3 2】

テストによれば、リード 2 4 の挟れは、弁孔 2 1 の長手方向中央部で最も大きい。リード 2 4 のリード取り付け部 2 0 a に対する取り付け誤差により、リード 2 4 が傾いて取り付けられることも考慮すると、弁孔 2 1 がリード 2 4 と長手方向を同じくする略長方形である場合は、弁孔 2 1 の突起 2 7、2 7 を、前述のように、弁孔 2 1 のリード 2 4 基端側の端縁から測って、弁孔 2 1 の長辺長さ L の約 75% の箇所に配置するときが、突起 2 7、2 7 の、リード 2 4 の挟れに対する抑制効果が最も高いことを確認しており、したがって突起 2 7、2 7 の突出長さを極力小さくし、リード 2 4 の挟れを効果的に抑え、リード 2 4 の弁孔 2 1 への入り込みを確実に防ぐことができる。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 3 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 3 6】

この第 2 実施例は、前実施例における弁孔 2 1 の突起 2 7、2 7 に代えて、リード 2 4 の長辺側の両側縁に一对の突起 3 7、3 7 を形成したものであり、その他の構成は前実施例と同様であるから、図 5 及び図 6 中、前実施例との対応部分には同一の参照符号を付して、その説明を省略する。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】図面
 【補正対象項目名】図 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【 図 2 】

